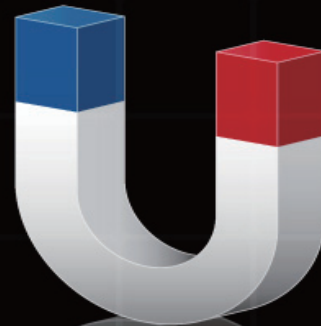


Composite Material,
In the World

ONLY

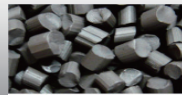
1



We are aiming at evolution from Only One manufacturer of bonded magnets to the world Only One of composite materials.

【射出・押し出し成型用プラスチックマグネット材料】

- ・フェライト系コンパウンド
- ・ネオジウム系等方性コンパウンド
- ・ネオジウム系異方性コンパウンド
- ・サマコバ系異方性コンパウンド
- ・希土類+フェライト系コンパウンド



【射出成型用軟磁性プラスチック材料】

- ・ソフトフェライト系コンパウンド
- ・金属扁平粉及び金属系コンパウンド

株式会社 メイト

《営業部》

〒709-0514

岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL : 0869-88-1888 / FAX : 0869-88-0204

《東京営業所》

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里5-52-2神谷ビル301

TEL : 03-5810-6825 / FAX : 03-5810-6826

URL : <http://www.mate.co.jp/>

Copyright (c) 2009 MATE CO., LTD All right reserved.

編集後記

BM 素心は日立金属で希土類磁石の黎明期から開発に携わり、“永久磁石は地球を救う”の著者でもある徳永雅亮氏により、これからの磁石産業と題してご寄稿頂いた。「新材質開発を含む新製品開発や革新的生産プロセスの構築」を重要な研究開発課題として取組んでゆくべきとの提言がなされている。徳永氏には故浜野正昭博士に代わり寺子屋 BM 塾長をお願いしてご活躍頂いている。

BM レポートでは、5月の技術例会で「磁性材料の最新市場、技術および応用の動向」と題してご講演を頂き成功裡に終了した内容を、講師の許可を得て再掲載させて頂いた。大変貴重なデータが詰まっているのでぜひ参考にさせて頂きたい。

9月に行われた日本磁気学会の学術講演会で、岩崎俊一東北大学名誉教授による文化勲章ならびにベンジャミン・フランクリン・メダル受章記念特別講演があった。科学は知を広げて新しい文化を生み、技術はものづくりを通して社会を組織化して文明を築く、文化のキーワードは、仮説を提案して実証する「創造」、標準化と普及を図る「展開」、そして実社会への融合を目指す「統合」の3つであると述べられた。垂直磁気記録方式を1970年代に提唱したが、全てのHDDに採用されるまでに約40年経過した。研究者・技術者としての心構えが話され、ライバル関係にあった海外の研究者も取り込んだこと、また、みんなが使えるようになって初めて研究は完成したと言えとの信念で続けられてきたことなどが印象的であった。

磁性材料の応用としてパワーエレクトロニクスに関心が集まっている。磁気記録などの情報エレクトロニクスとは必要とする材料特性が大きく異なる。したがって材料開発における要求特性を明確にし、その測定方法を確立することが必要である。当協会ではその一環として、軟磁性材料研究会で最新の情報を得るとともに、その研究会参加者有志で圧粉磁心の規格化、標準化部会を立ち上げ回送試験などを行いながら、実際に必要とされる特性評価方法を確立することを目指している。磁石についてもこれまでの静磁気的な測定のみでなく動的な測定が必要になりつつある。会員各位をはじめとする関係者の多大なる協力を期待する。

機関紙編集委員長

大森 賢次